

「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」

令和5年度施策評価シート



まいりゅう
MAIRYU
© 龍ヶ崎市

目次

政策の柱1 子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり

- 施策1 子ども・子育て支援の充実【未来創造プロジェクト】 … 1
- 施策2 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進【未来創造プロジェクト】 … 2
- 施策3 若者世代の活躍支援と定住促進【未来創造プロジェクト】 … 3

政策の柱2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり

- 施策1 地域経済の活性化 … 4
- 施策2 多様な働き方と働く場の創出 … 5
- 施策3 地域資源を活用した観光まちづくりの推進【魅力創造プロジェクト】 … 6
- 施策4 流通経済大学との連携の推進 … 7

政策の柱3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり

- 施策1 支え合う地域福祉の実現 … 8
- 施策2 健康長寿社会の実現【幸せ創造プロジェクト】 … 9
- 施策3 地域医療体制・感染症対策の強化 … 10
- 施策4 社会保障制度の適正な運営 … 11

政策の柱4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり

- 施策1 誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現【魅力創造プロジェクト】 … 12
- 施策2 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進 … 13
- 施策3 多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現 … 14

政策の柱5 安全・安心が実感できるまちづくり

- 施策1 防災・減災対策の推進 … 15
- 施策2 消防・救命体制の充実 … 16
- 施策3 暮らしの安全・安心の確保 … 17

政策の柱6 機能的で、利便性が高いまちづくり

- 施策1 魅力ある都市拠点の形成【幸せ創造プロジェクト・魅力創造プロジェクト】 … 18
- 施策2 快適でシームレスな移動環境の構築【幸せ創造プロジェクト】 … 19
- 施策3 良好な住環境の維持・創出【未来創造プロジェクト】 … 20

政策の柱7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり

- 施策1 環境負荷の少ない地域社会の形成 … 21
- 施策2 自然環境の保全と環境美化の推進 … 22
- 施策3 機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備 … 23

政策の柱8(横断的取組) 市民と共に育む持続可能なまちづくり

- 施策1 市民主体のまちづくりの推進 … 24
- 施策2 SDGsの推進 … 25
- 施策3 効率的で透明性の高い市政運営 … 26
- 施策4 効果的なシティプロモーション【魅力創造プロジェクト】 … 27
- 施策5 公共施設の「縮充」の推進 … 28
- 施策6 電子自治体の推進 … 29
- 施策7 持続可能な財政運営 … 30

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱 1 子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり

施策 1 子ども・子育て支援の充実 リーディングプロジェクト(未来創造)

施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ

- 子どもの成長と子育て世代を地域全体で応援する環境が整っています。
- 喜びを実感しながら安心して子どもを産み育てることができるまち、というイメージが定着しています。

(1) 主要事業の状況	事業名	産前産後家事支援事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	取組内容		○妊産婦を対象に家事支援等サービス(家事支援、育児支援)に係る費用を助成(直接児童に接する支援は除く。) ・1日2時間まで、上限40時間(ただし、多胎妊婦は上限60時間) ・1時間あたり500円(非課税世帯は無料)	利用件数	活動	件	40
事業名		産後ケア事業	指標名	区分	単位	目標	実績	
取組内容		○産後1年未満の母子を対象に産科医療機関等における出産後の母子の心身のケア及び育児のサポート ・自己負担額(宿泊型5,000円、日帰り型2,500円、訪問型1,000円、上の子預かり1人につき3,000円) ・医療機関5か所、助産所2か所、茨城県助産師会への委託事業	利用件数	活動	件	85	98	
事業名		子育てスマイルパスポート事業	指標名	区分	単位	目標	実績	
取組内容		○オンライン上の専用サイトを構築し、子育て世帯へタイムリーに情報提供をしたほか、育児商品等に使用可能なポイントの付与を通して、子育て世帯のニーズに応じた幅広いサービスを提供 ・対象者への案内通知発送等を行い、登録者へポイントを付与 ・1～6歳児を対象に子ども一人当たり5,000円相当を付与	付与ポイントの使用率	成果	%	90	67	
その他の取組		マタニティタクシー助成事業、非課税世帯等妊婦初回産科受診料支援事業						

(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
	子育てしやすいまちであると感じる市民の割合(18歳～49歳)	54.3 % (R3) 増加目標	37.8 %	27.2 % (目標未だ)			
妊娠・出産の支援に対し満足している市民の割合	82.6 % (R3) 増加目標	86.5 %	6.5 % (目標達成)				80.0以上を維持 %
小学校入学前の子どもたちへの教育内容・施設への満足度(18歳～49歳)	41.5 % (R3) 増加目標	25.3 %	18.7 % (目標未だ)				44.0 %
保育所の待機児童数(毎年4月1日現在)	0 (R3) 減少目標	0	0 (目標達成)				毎年0を維持

(3) 総合評価	評価	評価の理由	今後の施策展開の考え方
	A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	C	重点分野として幅広い支援策を展開しているが、KPIの2指標が大幅減となっているため。サービス利用方法や周知等に課題があり、「子育てしやすいまち」のイメージ定着が進んでいない影響が考えられる。

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり							
施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進			リーディングプロジェクト(未来創造)				
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒一人ひとりが夢や目標に向かって努力する力を身につけています。 時代の変化に対応できる「生きる力」を育むための環境が学校や地域全体で整っており、魅力ある教育が行われています。 								
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	AIドリル活用推進事業		指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○各小中学校の情報教育主任による情報交換会を年4回オンラインで実施したほか、児童生徒に対して1人1台学習用端末の活用に関する実態調査を実施 ・1人に1台学習用端末を使った授業は分かりやすいと回答した児童生徒 小学3～6年生:95.3%/中学1～3年生:94.1%			AIドリルを授業等で活用している教師の割合	活動	%	100	89
					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	教科専科指導員配置事業		指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○市内小学校に教科専科指導員(会計年度職員)を配置 ・市内小学校に11名の教科専科指導員を配置 ・学校の実態と教科専科指導員の専門に応じて授業を展開し、児童の学びを深化 ・学校訪問の際に面談を実施し、勤務形態や授業展開を協議			授業が良く分かると肯定的に答えた児童生徒の割合	成果	%	90	82
					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	新学校給食センター建設事業		指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
取組内容	○新学校給食センターを整備し、新学校給食センターから給食を提供 ・整備に係る建設業務等の中間検査及び完了検査 ・機械警備、ボイラー、エレベーター等の業務委託契約締結 ・調理リハーサルを3回実施したのち、給食の提供開始		指標名		区分	単位	目標	実績	
その他の取組	小中一貫校施設整備事業、中学校部活動指導員配置事業、県産献立「いばっぺごはんの日」実施事業、小中学校英語検定料助成事業								
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	小中学校の教育内容・施設への満足度(18歳～49歳)		42.1 % (R3) 増加目標	28.9 % 目標まであと 16.1 %					45.0 %
	若者が健全に育つ環境や若者の活動を支援する機会・サービスの満足度(18歳～39歳)		23.8 % (R3) 増加目標	16.8 % 目標まであと 17.2 %					34.0 %
	将来の夢や目標を持っている児童(小学生)の割合		78.8 % (R3) 増加目標	80.0 % 目標まであと 7.0 %					87.0 %
	将来の夢や目標を持っている生徒(中学生)の割合		69.5 % (R3) 増加目標	63.2 % 目標まであと 14.8 %					78.0 %
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方				
	C	小中一貫教育や適正規模適正配置による学習環境の整備を図るなど、多様な施策展開に努めているが、KPIの2指標が大幅減となっているため、学校の学習環境改善に対する市民の期待の表れと考えられる。			小中学校の適正規模・適正配置による環境整備と、教員の働き方改革にも留意しながら、ICTや地域資源を活用し、児童生徒の主体的な学びにつながる教育環境を提供していく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
施策	3	若者世代の活躍支援と定住促進			リーディングプロジェクト(未来創造)					
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 若者が地域社会の一員として様々な地域活動に主体的に取り組み、活躍しています。 若者にとって魅力のあるまちになっており、「住んでみたい」と感じる人が増えています。 									
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	青少年リーダー育成推進事業			指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○「放課後プレイキャンプ野沢温泉村」(8/22～25、3泊4日)を実施し、子ども会事業として小学3年生～6年生の20名が参加 ・親子の関係性や新しい自分を発見するためのプログラムとして、自然や食への関心や大切さを学ぶ活動、文化活動、決断力・行動力・意思決定力を身に付ける活動を展開			指標(R5)	参加者の満足度	成果	%	70	100
	事業名	若者結婚新生活応援事業				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○U29新婚生活スタート応援補助金の交付 ・夫婦いずれかが30歳未満の新婚世帯1組あたり10万円(基本額5万円+加算額5万円)を交付する事業を新規に開始			指標(R5)	補助金交付件数	活動	組	150	48
	事業名	ウェルカムチケット交付事業				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○新たに市民になった方などを対象に、市の公共施設等のウェルカムチケット(優待チケット)を配布 ・ニューライフアリーナの施設、たつのご産直市場、コミュニティバス又は乗合タクシー、子育て支援センターさんさん館、リフレッシュ保育、龍ヶ崎コロッケ取扱店で使用可能な1冊11枚綴りのチケットを交付する事業を新規に開始			指標(R5)	チケットの配布者数	活動	人	1,950	2,130
	その他の取組					指標名	区分	単位	目標	実績
						チケットの使用枚数	成果	枚	750	486
	(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
		若者が健全に育つ環境や若者の活動を支援する機会・サービスの満足度(18歳～39歳)		23.8 % (R3) 増加目標	16.8 % 目標まであと 17.2 %					34.0 %
龍ヶ崎の魅力をお勧めたい意欲(推奨意欲)(18歳～39歳)		-52.4 (R3) 増加目標	-58.6 目標まであと 16.6					-42.0		
龍ヶ崎をよくする活動に参加したい意欲(参画意欲)(18歳～39歳)		-46.8 (R3) 増加目標	-33.4 目標達成 2.6					-36.0		
「住み続けたい」と感じる市民の割合(18歳～39歳)		72.3 % (R3) 増加目標	70.4 % 目標まであと 8.6 %					79.0 %		
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	B	KPIの増減から、若者はまちに期待し、自ら行動することで魅力を知り、高めたい想いが見えるが、参画機会や情報提供の在り方に課題があるため。			出会いから結婚、定住に至る取組のさらなる推進と合わせ、子ども・若者世代のまちづくりへの参画機会を創出し、まちを知り、魅力を感じ、定住につながる取組を推進していく。					

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり									
施策	2	多様な働き方と働く場の創出									
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場所に選択が可能な魅力ある働く場が提供されています。 まちに多様な人たちの交流機会の場が創られており、市内に新たなビジネスが生まれています。 										
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のものを表記しています。	事業名	若者世代等就職支援事業				指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○市内高等学校(公立3・私立1)及び流通経済大学の進路状況について、進路担当者からの聞き取りなどにより把握し、地元企業をメインとした就職イベントを企画して開催 ・令和5年11月11日(土)にニューライフアリーナ龍ヶ崎で実施 ・市内の参加企業数:22社/参加者数:50名/採用状況:選考14名、採用3名				指標(R5)	就職イベントの開催	活動	回	1	1
	事業名	保育士等支援事業					指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○修学資金貸付け、保育士等家賃補助制度の運用など ・修学資金貸付けについて、令和4年度からの継続貸付者3名、令和5年度からの新規貸付者3名への貸付けを実施 ・保育士等家賃補助について、11名への家賃補助を実施 ・保育士等合同就職説明会を、いばらき保育人材バンクと連携し、公立を含む市内保育所等と開催				指標(R5)	修学資金貸付け者数	活動	人	9	6
	事業名	創業支援事業					指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○創業支援等事業計画に基づき、起業、創業の支援を実施 ・創業スクールを全6回実施(32名受講、27名証明書交付) ・女性のための創業スクールを開催(16名参加) ・新たな取組として、起業家サロンを開催(22名参加) ・創業促進事業補助金(第1年度8件、第2年度1件、第3年度5件)を交付				指標(R5)	創業スクールの開催回数	活動	回	6	6
	その他の取組						指標名	区分	単位	目標	実績
							創業促進補助金交付件数	活動	件	21	14
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
		就労支援や企業誘致など雇用の創出への満足度		9.8 (R3) %	8.9 (R3) %					14.0 %	
創業スクール受講者の5年以内の創業率		22.4 (R3) %	21.5 (R3) %					25.0 %			
市の物足りないところ、嫌いなどとして「多種多様な働く場がない」と回答した割合		12.2 (R3) %	15.9 (R3) %					6.0 %			
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方						
	B	就職イベントによる雇用者は少なく、地元就職を支援する方策の在り方に課題があり、KPIの上昇につながっていないため。			創業支援や地元企業との連携を強化し、多様な働く場を提供することにより、若者世代が本市を離れず地元で活躍できる好循環を生み出す取組を行っていく。						

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



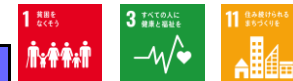
政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり								
施策	3	地域資源を活用した観光まちづくりの推進			リーディングプロジェクト(魅力創造)					
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 市の持つ様々な地域資源が活用され、多くの人を訪れるまちになっています。 市民一人ひとりが龍ヶ崎の魅力を伝えることができています。 									
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	伝統芸能伝承事業			指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」の支援、周知 ・クラウドファンディングを実施し、広く市内外へ周知、市内外から支援を受入れ ・市内外のイベント等(県人会、館林市産業祭等)でPRを実施 ・撞舞保存会の経費抑制など、持続可能な運用への見直し ・新たな観覧席を設置し、協賛企業・団体を招待 			指標(R5)	来場者数	成果	人	5,300	8,000
	事業名	たつのこワクワクワーク事業				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○シビックプライドの醸成や子どもたち(若者)の活躍促進を図るため、子ども向け職業体験イベント「たつのこワクワクワーク」を開催 ・公募型企画提案により(株)JTBが受託し、昨年度の課題などを整理した上で14事業者による事業実施計画を策定 ・延べ約800人分の申込みがあり、215人が参加 			指標(R5)	職業体験スポット数	活動	箇所	15	14
	事業名	観光PRイベント等開催事業				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市観光物産協会や庁内外の関係機関と連携して観光PRを実施 ・市内外の各種イベント等(J:COM、SNSなどを含む。)で、観光アンバサダーを活用した観光PRを実施(主なイベント:まいりゅう祭り、イルミネーション点灯式、デジタルスタンプラリー) ・茨城デスティネーションキャンペーンやデジタルスタンプラリーなど、庁内外の既存事業とコラボレーションし、観光PRを実施 			指標(R5)	PRを実施したイベント等件数	活動	件	15	25
	その他の取組	地域資源活用事業、牛久沼活用事業				指標名	区分	単位	目標	実績
	(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
		地域資源を活用した観光の推進への満足度		14.2 % (R3) 増加目標	11.0 % 目標まであと 12.0 %					23.0 %
		市外在住者の本市への来訪経験		40.4 % (R2) 増加目標	42.1 % 目標まであと 17.9 %					60.0 %
市外在住者の本市への来訪意向		14.8 % (R2) 増加目標	15.7 % 目標まであと 9.3 %					25.0 %		
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	B	多様なイベントを展開しており、本市への来訪経験や来訪意向は上昇しているが、牛久沼などの地域資源の活用に課題があるため。			イベントの展開を継続していくとともに、牛久沼やリニューアルした森林公園など、本市の魅力である場所や環境を活かした施策を展開し、市内外から多くの人を呼び込んでいく。					

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



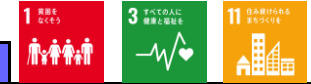
政策の柱		2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり								
施策		4 流通経済大学との連携の推進								
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		・市民が「大学のあるまち」の様々なメリットを享受しています。								
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみを表記しています。	事業名	流通経済大学連携事業(龍・流連携)			指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○流通経済大学と連携し、教育・文化・スポーツなどの様々な分野の事業を展開 ・小中学校学生派遣(小学校11校、中学校5校)の実施 ・ラグビー部応援バスツアー(関東大学リーグ戦最終戦)の実施 ・学割サービス(飲食店・食品販売、ガソリンスタンドなど)の実施			指標(R5)	流通大認知度向上イベント開催回数	活動	回	2	2
	事業名					指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容				指標(R5)	市民大学講座への参加者数	成果	人	30	34
	事業名					指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容				指標(R5)					
	事業名					指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容				指標(R5)					
	事業名					指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容				指標(R5)					
事業名				指標名		区分	単位	目標	実績	
取組内容				指標(R5)						
事業名					指標名	区分	単位	目標	実績	
その他の取組										
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
	流通経済大学との連携事業や大学生との交流機会の創出への満足度		26.1 % (R3) 増加目標	24.6 % 目標まであと 4.4 %				29.0 %		
	龍・流連携事業の認知度		36.6 % (R3) 増加目標	37.8 % 目標まであと 3.2 %				41.0 %		
	龍・流連携事業や大学が開催するイベント等へ参加したことがある市民の割合		13.9 % (R3) 増加目標	11.5 % 目標まであと 11.5 %				23.0 %		
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	B			今後の施策展開の考え方					
	評価の理由	龍・流連携の認知度はやや上昇しているが、連携事業や交流機会は限定的なものに留まっており、KPIに減少が見られるため。			大学が持つ知的・人的資源を活用し、地域課題の解決やまちの活気につなげるとともに、「大学のあるまち」として市民がその恩恵を享受し誇れる取組を推進していく。					

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり						
施策	1	支え合う地域福祉の実現						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 全ての人が支え合いながら、誰もが住み慣れた地域で、いきいきとした自分らしい生活ができています。 							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	生活支援コーディネーター事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○高齢になっても社会と関わることができるよう、様々な社会資源と住民をつなぐ生活支援コーディネーターを配置し、地域住民が進める社会資源づくりを支援 ・社会福祉法人龍ヶ崎市社会福祉協議会に委託し、事業を実施 ・高齢者等の居場所づくりであるサロン活動を行っている団体を把握し、「医療・介護・障がい生活情報サイト」に情報を掲載		第2層協議体の設置箇所数	活動	箇所	4	4
	事業名	生活支援サポーター活用事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○生活支援サポーター養成研修修了者等と家事支援を必要としている市民をマッチングさせるサービスを提供 ・NPO法人ユアアンドアイに委託し、「龍ヶ崎市生活支援サポートセンター」設置 ・サポーターと家事支援等を必要とする高齢者等をマッチング ・サポーター養成研修を実施し、新たに4名が登録		生活支援サポーター登録者数	成果	人	20	12
	取組内容	家事支援依頼件数		成果	件	80	67	
	事業名	総合福祉センター管理事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○利用者の安全と利便性を確保するため、施設設備の改修等を計画的に実施 ・稼働後30年以上が経過している建物の安全を確保するため、外壁・屋根改修工事及び護岸改修工事の実施設計を実施 ・施設の維持管理として、厨房空調設備工事や給水設備の修繕を実施		利用者数	成果	人	25,000	28,076
	その他の取組			指標名	区分	単位	目標	実績
			利用者満足度	成果	%	80	84	
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	お年寄りが生活しやすい施設・サービスへの満足度(65歳～)	27.9 % (R3) 増加目標	20.0 % (R3) 増加目標 目標まであと 13.0 %				33.0 %	
	障がいのある人が生活しやすい施設・サービスへの満足度	15.0 % (R3) 増加目標	12.1 % (R3) 増加目標 目標まであと 5.9 %				18.0 %	
	地域での支え合いやボランティア活動への満足度	27.6 % (R3) 増加目標	21.9 % (R3) 増加目標 目標まであと 9.1 %				31.0 %	
	生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度(65歳～)	29.6 % (R3) 増加目標	25.4 % (R3) 増加目標 目標まであと 11.6 %				37.0 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	C	地域との関わりや自立をサポートするための相談や支援する事業を展開したが、KPIは総じて減少しているため。全国的な傾向として、福祉・介護福祉人材の不足が影響していると考えられる。		高齢者や障がい者などすべての人が住み慣れた地域で安心して社会と関わりながら生活できるよう、相談体制の充実をはじめ、生活支援などニーズを捉えた支援策の展開に取り組んでいく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



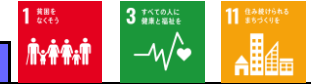
政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり						
施策	2	健康長寿社会の実現				リーディングプロジェクト(幸せ創造)		
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	・誰もが主体的に健康づくりに取り組んでおり、健康寿命が延伸し、健康でいきいきとした生活が営まれています。							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	がん予防・検診受診促進事業	指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○検診予約体制整備、胃内視鏡検査などによる検診環境の充実 ・個別の受診勧奨を実施 ・かかりつけ医からの診療情報提供事業の活用促進 ・未受診者への効果的な受診勧奨を実施 ・検診の予約体制利便性向上のため、コールセンターを新規設置 ・胃がんの早期発見、治療などを旨とした取組を実施		特定健康診査未受診者に対し勧奨通知を発送し、その後健康診査を受診した人の割合	成果	%	17	18
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	新保健福祉施設建設事業	指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○健康づくりや子育ての総合的な支援、福祉機能を集約した新保健福祉施設を整備 ・龍ヶ崎市新保健福祉施設整備検討会議、公共施設等マネジメント戦略会議、庁議、公共施設等マネジメント推進委員会の開催 ・市民交流機能を有する3階部分について、指定管理者による管理運営を見据え、指定管理者選定委員会で審議		指標名	区分	単位	目標	実績
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	歯科保健事業	指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○歯科衛生士を中心とした歯科疾患の予防と早期発見、治療 ・保育所、幼稚園、認定こども園職員を対象に講演会を実施 ・フッ素洗口事業の協力意思確認調査を実施 ・歯周疾患検診、幼児歯科健康診査を実施し、未受診者には通知や電話による勧奨を実施 ・保育施設で歯みがき教室を実施		2歳6か月児歯科医療機関健診受診率	成果	%	72	66
				指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組	がん検診節目検診事業		指標名	区分	単位	目標	実績
			歯周疾患検診の受診率	成果	%	7	6.5	
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	健康診査などの受けやすさや健康づくりのしやすさへの満足度	52.9 % (R3) 増加目標	45.2 % 目標まであと 11.8 %				57.0 %	
	お年寄りが生活しやすい施設・サービスへの満足度(65歳～)	27.9 % (R3) 増加目標	20.0 % 目標まであと 13.0 %				33.0 %	
	特定健康診査の受診率(国民健康保険加入者)	23.4 % (R3) 増加目標	33.8 % 目標まであと 1.2 %				35.0 %	
	住民検診におけるがん検診の受診率(5項目平均)	8.7 % (R3) 増加目標	8.9 % 目標まであと 3.1 %				12.0 %	
	幸福感の高い高齢者の割合	46.8 % (R3) 増加目標	42.2 % 目標まであと 4.6 %				46.8 以上 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	多様な健診メニューの提供や受診費用の助成により、受診率は向上しているが、満足度や幸福度が減少しているため。保健センターの老朽化などによる影響も考えられる。		病気の早期発見や生活習慣病の予防につながる健診や講座の充実を図っていくとともに、動ける身体を維持し、健康寿命の延伸につながる取組を行っていく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり						
施策	3	地域医療体制・感染症対策の強化						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	・ 病気やけが、感染症などに際して、迅速で適切な医療をはじめとするサービスが提供されています。							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	医療対策事業	指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○小児救急医療輪番制、病院群輪番制などの展開 ・小児救急医療輪番制は、6市町村、協力4医療機関と連携 ・病院群輪番制は、構成5市町村、協力4医療機関と連携 ・市内医療機関における休日緊急診療の実施		市内休日診療(休日当番医)医療機関数(1日あたり)	活動	医療機関	2	2
	事業名	おたふくかぜ予防接種助成事業	指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○おたふくかぜ予防接種費用を助成し、保護者の経済的負担を軽減 ・予防接種の接種件数:263件 ・市内委託医療機関:1歳児212件、2~5歳児22件 ・償還払い:1歳児29件		おたふくかぜ予防接種接種率(1歳以上2歳未満)	成果	%	95	74
	事業名	小児インフルエンザ予防接種助成事業	指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○小児インフルエンザ予防接種費用を助成し、保護者の経済的負担を軽減 ・予防接種の接種件数(延べ3,461件) ・市内委託医療機関:3,254件 ・償還払い:207件		小児インフルエンザ予防接種接種率	成果	%	50	23
	その他の取組	骨髄移植後等再接種助成事業						
	(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		病院等の数と夜間・休日等の医療サービス体制への満足度	42.2 % (R3) 増加目標	38.6 % 目標まであと 11.4 %				50.0 %
		人口10万人当たりの医師の数	133.5 人 (R2) 増加目標	136.2 人 目標達成 2.7 人				133.5 人以上を維持 人
市内の医療機関の診療科目の数		30 科目 (R2) 増加目標	29 科目 目標まであと 1 科目				30以上を維持 科目	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	B		評価の理由		今後の施策展開の考え方		
		多様な感染症の予防接種、費用の助成を展開しているが、病院等の数と夜間・休日等の医療サービス体制への満足度が減少しているため。医師の働き方改革等、将来不安の影響が考えられる。		小児、大人ともに感染症の発症や重症化を予防する定期接種や接種の助成を継続していくほか、夜間・休日等の医療における広域連携の維持や市医師会との連携の中で、医療の充実を検討していく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり									
施策	4	社会保障制度の適正な運営									
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	・ 誰もが平等で安定した生活が営まれています。										
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみを表記しています。	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績			
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績			
	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績			
	取組内容	主要事業アクションプランに掲載している事業はありませんが、社会インフラを支える必要不可欠な分野であり、各種制度の適正な運営を図っています。		指標名	区分	単位	目標	実績			
	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績			
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績			
	その他の取組										
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)			
		国民健康保険などの生活保障への満足度	24.7 % (H30) 増加目標	30.7 % 目標達成 3.7 %				27.0 %			
		後発医薬品(ジェネリック医薬品)利用率(後期高齢者)	79.4 % (R3) 増加目標	82.2 % 目標達成 2.2 %				80.0 % 超			
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方						
	A	KPIが目標を達成しているため。			社会保障分野は、セーフティーネットとして必要な方に支援が届くよう今後も制度の適正な運営を図っていく。						

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり								
施策	1	誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現			リーディングプロジェクト(魅力創造)					
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽にスポーツ・運動に親しめる環境が整っています。 スポーツ・運動を通じて心身ともに健全で充実した暮らしができています。 									
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	マラソン大会開催事業			指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○全てのスポーツの基礎である「走る」ことや、チームで楽しみながら「絆を深める」ことへのきっかけづくりとするとともに、市民の運動実施率向上を図るため、リレーマラソン大会を開催 ・親子ラン65組、ジュニアラン51人、リレーマラソンの部51組、招待チーム4組が参加、売店等8店舗出店			指標(R5)	参加者数	成果	人	1,000	514
	事業名	スポーツツーリズム振興事業				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○産学官連携によるスポーツイベントの開催 ・北海道×茨城県プロジェクトの事業展開の一つとして、北海道日本ハムファイターズのイースタンリーグ主催試合をTOKIWAスタジアム龍ヶ崎で開催 ・商工会等と連携して飲食店等のブースを出店(出店数8店舗)			指標(R5)	イースタンリーグ観戦者数	成果	人	2,000	1,493
	事業名	スポーツによる自己実現支援事業(投げるプロジェクト・踊る大作戦)				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○投げる大作戦(自己と向き合い、自由な発想で自分なりの答えを導き出すプロセスを意思決定できるプログラム)の実施 ・参加者募集、事前説明会を開催 ・全10回のプログラム(体力測定会、プロ野球イースタン・リーグ茨城シリーズの場を活用した成果報告会)、振り返り会を実施			指標(R5)	運動有能感や自己肯定感に対する満足度(子ども)	成果	%	80	92
	その他の取組	たつのこアリーナ管理事業、たつのこフィールド管理事業、たつのこスタジアム管理事業				指標名	区分	単位	目標	実績
					運動有能感や自己肯定感に対する満足度(保護者)	成果	%	80	84	
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
	体を動かし、スポーツ等に親しむ機会・施設への満足度		47.7 % (R3) 増加目標	45.5 % 目標まであと 6.5 %					52.0 %	
	たつのこアリーナ(メインアリーナ)の稼働率		65.0 % (R3) 増加目標	72.0 % 目標まであと 14.0 %					86.0 %	
	たつのこフィールドの稼働率		62.0 % (R3) 増加目標	70.0 % 目標達成 7.0 %					63.0 %	
	たつのこスタジアムの稼働率		35.0 % (R3) 増加目標	33.0 % 目標まであと 7.0 %					40.0 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	B	施設の稼働率から様々なイベントの開催を通じて運動やスポーツを楽しむ方が増え、一定の成果は出ていると考えるが、満足度は現状維持であり、多様化する市民ニーズに合ったイベントの開催に課題があるため。			様々な団体やアスリートなどと官民で連携しながら、多世代がスポーツ・運動に触れ合う機会を提供していくとともに、個性のあるイベントやプログラムの提供により、にぎわい創出や地域活性化につなげていく。					

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり						
施策	2	暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのニーズにあった学習の機会が提供されています。 文化や芸術、歴史に触れる機会が増えており、愛着や誇りが育まれています。 							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	中央図書館管理事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○快適性・安全性の向上と施設の長寿命化を図るため、老朽化した設備を計画的に改修 ・空調機更新工事(吸気式冷温水機更新工事)、照明LED工事(令和4年度に実施した2階部分の残り箇所及び外灯)、電話設備更新(電話機器購入設置、アナログ回線から光回線への切替)など		利用者数	成果	人	130,000	65,625
	事業名	文化会館管理事業		指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○快適性・安全性の向上と施設の長寿命化を図るため、老朽化した設備を計画的に改修 ・大ホール2階のホワイエ空調設備更新工事実施設計、小ホール内装改修工事(老朽化した内装(天井、壁、床)の改修及び可動式ステージの更新)、小ホール舞台照明等LED化工事(舞台照明及び室内照明のLED化)など	指標 (R5)	利用者数	成果	人	120,000	74,126
	事業名	郷土偉人マンガ作成事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○木村屋総本店創業者であんパンを発明した木村安兵衛がテーマ ・検討会議(文化財保護審議会委員、教育関係者、市民団体等) ・関連資料の収集、調査(木村屋総本店、茨城県立図書館、川原代地区史跡など) ・関係者取材(木村安兵衛旧宅周囲、木村屋総本店関係者など) ・編集会議(漫画家、デザイナー、事務局)、印刷製本(5,000部)		偉人マンガを活用したイベント開催回数	活動	回	1	0
	その他の取組			指標名	区分	単位	目標	実績
				偉人マンガを取り上げたメディアの数	成果	件	3	2
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		芸術や文化に触れ親しむ機会・施設への満足度	26.9 % (R3) 増加目標	26.5 % 目標まであと 5.5 %				32.0 %
生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度		26.7 % (R3) 増加目標	23.7 % 目標まであと 8.3 %				32.0 %	
文化財や市民遺産を活用したイベントの件数		3 件 (R3) 増加目標	4 件 目標達成 1 件				毎年3以上 件	
文化芸術フェスティバルの延べ来場者数		12,096 人 (R3) 増加目標	17,248 人 目標まであと 4,745 人				21,993以上 人	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方			
	B	KPIの増減から、文化芸術の取組については一定の評価は得られているが、生きがいづくりや趣味を見つけ、気軽に楽しめる機会や場所の提供に課題が見られるため。			本市の貴重な歴史的資源を保護・活用するとともに、コミュニティセンターや市民交流プラザなど、市民に身近な公共施設を積極的に活用し、ライフステージに応じた多様な学習や活動ニーズに応えていく。			

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり							
施策	3	多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現							
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 国籍や性別、文化や価値観などの違いを対等な立場で互いに理解し合い、誰もが自分らしく幸せに暮らすことができます。 								
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績	
	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 主要事業アクションプランに掲載している事業はありませんが、男女共同参画に対する意識の深化や多文化共生・多様性を認め合う社会の構築に向けた取組を推進しています。 </div>		指標名	区分	単位	目標	実績	
	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績	
	その他の取組								
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		男女の平等意識、性の差を感じずに活躍できる環境への満足度		22.7 % (R3) 増加目標	19.1 % 目標まであと 4.9 %				24.0 %
		諸外国や異文化との交流の機会への満足度		12.6 % (R3) 増加目標	9.4 % 目標まであと 9.6 %				19.0 %
普段から自分の気持ちを分かろうとしてくれる友人がいる児童生徒の割合		81.5 % (R3) 増加目標	85.0 % 目標達成 5.0 %				80.0 % 以上を維持		
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方				
	C	小中学校では多様性を尊重する意識の向上や浸透が見られるが、男女平等や異文化交流機会などに対する満足度が減少しており、特に、増加傾向にある外国籍の住民との交流や支援の取組に課題があるため。			性別や国籍に関係なく、誰もが平等に活躍し、暮らしやすく生きやすい市を目指し、意識啓発に継続して取り組んでいくほか、外国籍の住民との多様な交流機会の創出や生活支援などに幅広く取り組んでいく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり						
施策	1	防災・減災対策の推進						
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの防災意識が高まっており、有事の際の備えができています。 災害時に社会インフラなどが維持される「強さ」と迅速な復旧・復興ができる「しなやかさ」を持った、災害に強いまちになっています。 							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	非常災害用備蓄事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○備蓄品更新計画の更新及び当該更新計画に基づく、備蓄食糧及び飲料水購入契約の締結 ・消費期限の迫る備蓄食料等を確認し、期限が迫っているものを防災意識の向上等を目的に防災訓練参加者や学校などのほか、福祉の観点から生活困窮者や子ども食堂などへ供与 ・地震災害時避難者見込み5,200人分の備蓄食糧、飲料水確保		避難者(5,200人)が3日間(9食分)生活できる備蓄食糧充足率	活動	%	100	100
	事業名	住宅・建築物耐震改修促進事業		指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○旧耐震基準の自己居住用住宅に対する耐震診断、耐震改修等事業費用の助成を行うことによる木造住宅耐震化の促進 ・防災訓練などのイベント時において周知、PR活動を実施 ・大宮地区で耐震改修促進事業のチラシ回覧を実施	指標 (R5)	補助金交付件数	活動	件	10	2
	事業名			指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組			指標名	区分	単位	目標	実績
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		台風や地震など自然災害対策への満足度	38.8 % (R3) 増加目標	33.5 % 目標まであと 7.5 %				41.0 %
		災害時応援協定等の締結件数(民間企業・団体など)	47 件 (R3) 増加目標	51 件 目標まであと 6 件				57 件
住宅の耐震化率		95.9 % (H30) 増加目標	— %				95.9 以上 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	地域と連携した防災訓練の実施や資機材の整備など様々な取組を展開しているが、満足度が減少しているため。令和6年能登半島地震など激甚化する自然災害への不安や、牛久沼の越水などが一因と考えられる。		激甚化している自然災害に備え、市民、職員双方の意識啓発や訓練、食糧等の備蓄などに継続して取り組んでいくほか、インフラの復旧体制など、現場の状況に合わせて即応できる体制整備に取り組んでいく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり						
施策	2	消防・救命体制の充実						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	・ 市民レベルでの消火活動や救命活動が迅速で的確に行われています。							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	消防水利整備事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○防火水槽改修工事計画に基づく防火水槽の修繕及び消火栓の新設、修繕 ・防火水槽の適正な維持、管理を行うため、減水が生じている馴馬町防火水槽及び佐沼町防火水槽の2箇所を修繕 ・消火栓の新設、修繕について、令和5年度は該当箇所なし		防火水槽修繕箇所数	活動	箇所	2	2
	事業名	消防施設整備事業		指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○龍ヶ崎市消防団車両更新計画に基づき、更新時期を過ぎた消防車両を更新 ・更新した車両は、第5分団第3部(管轄地区:下羽原)、第5分団第7部(管轄地区:下泉)、第6分団第3部(管轄地区:半田)、第7分団第2部(管轄地区:関、宮前、小山丁、久夫、小関)の車両	指標 (R5)	小型動力ポンプ付積載車の更新台数	活動	台	4	4
	事業名	AED設置推進事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○公共施設及びコンビニエンスストアへのAED設置 ・リース契約により機器を更新し、公共施設に74台(予備機1台含む。)、コンビニエンスストアに26台、計100台設置 ・公共施設の再編成やコンビニエンスストアの開店、閉店の際は速やかに再配置(設置又は撤去)		不特定多数の市民が集まる公共施設のAED設置割合	活動	%	100	100
	その他の取組			指標名	区分	単位	目標	実績
				市内コンビニエンスストアのAED設置割合	活動	%	100	100
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		火災への安全対策や万が一の場合の救急救助体制への満足度	35.6 % (H30) 増加目標	28.1 % 目標まであと 10.9 %				39.0 %
消防団員の団員数及び定数(団員数/定数)(4月1日現在)		460/500 人 (R4) 増加目標	416/500 人				モニタリング 人	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	消防団員の減少が進んでおり、火災の安全対策や救急救助体制の満足度が大幅に減少しているため。全国的に災害が多発している中であって、市民にとって身近な消防団員の減少が一因と考えられる。		減少傾向にある消防団組織の維持・支援や消防・救命資機材の整備を計画的に行い、市民の安全・安心につなげていく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり						
施策	3	暮らしの安全・安心の確保						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪が未然に防がれ、誰もが平穏で安全・安心な生活を営むことができます。 ・ 一人ひとりが交通ルールとマナーを遵守し、市内の交通事故が減少しています。 							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	防犯活動事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○防犯、啓発活動の実施 ・13名の防犯サポーターにより、児童の登下校の見守りや青色防犯パトロール車両による市内パトロールを実施 ・竜ヶ崎警察署や龍ヶ崎市防犯連絡員協議会と協力して啓発活動を実施(春及び秋の地域安全キャンペーン、中学生による1日防犯連絡員活動など)		防犯に関する啓発イベントの実施回数	活動	回	3	10
	事業名	防犯カメラ等設置事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○安全・安心なまちづくり推進のための防犯カメラ設置、運用 ・下八代交差点、若柴町地内交差点、泉町地内交差点の3箇所に新たに防犯カメラを設置 ・竜ヶ崎警察署及び南が丘自治会と連携し、住宅侵入窃盗抑止のための防犯カメラを5基新たに設置 ・中八代区、中根台1丁目自治会体に防犯カメラ設置費用補助		地域団体へ補助金を交付した防犯カメラ台数	活動	台	3	6
	事業名	交通安全施設整備事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○交通危険箇所の解消による交通事故の防止を目的とした交通安全施設の整備 ・舗装維持修繕計画の対象となった路線の調査結果に応じた区画線設置工事、中心線の再設置を優先して実施、地域からの要望や点検結果等に基づいたカーブミラー新設や区画線の再設置など		区画線の引き直し延長	活動	m	11,000	17,000
	その他の取組	防犯灯整備事業、消費生活センター運営事業		カーブミラーの新規設置数	活動	基	30	36
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	犯罪や非行防止などの治安対策への満足度	32.7 % (R3) 増加目標	22.9 % (目標未満) 16.1 %				39.0 %	
	交通安全対策への満足度	39.1 % (R3) 増加目標	30.3 % (目標未満) 12.7 %				43.0 %	
	消費者問題の相談体制への満足度	12.7 % (R3) 増加目標	12.3 % (目標未満) 2.7 %				15.0 %	
	人口1,000人当たりの交通事故発生件数	1.7 件 (R3) 減少目標	2.4 件 (目標未満) 0.7 件				1.7 以内 件	
	人口1,000人当たりの刑法犯の認知件数	4.9 件 (R3) 減少目標	8.7 件 (目標未満) 3.8 件				4.9 以内 件	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	C		今後の施策展開の考え方				
	評価の理由	消費者問題を除く満足度が大幅に減少しており、交通事故や刑法犯の認知件数も増加しているため。全国的に特殊詐欺をはじめ強盗や窃盗などが発生し、様々な媒体を通じた知る機会の増加が要因と考えられる。		防犯カメラや交通安全施設の整備を促進し、犯罪や交通事故の発生の抑制につなげていくことで、市民の心理的不安感を取り除き、安心して生活できる環境整備を行っていく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり							
施策	1	魅力ある都市拠点の形成	リーディングプロジェクト(幸せ創造) リーディングプロジェクト(魅力創造)						
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 4つの住宅系市街地それぞれに、商業・サービス機能など、日常生活に必要な機能が身近に確保されています。 民間や他自治体などと連携した牛久沼の活用に向けた動きが生まれています。 								
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみを表記しています。	事業名	森林公園リニューアル事業	指標名	区分	単位	目標	実績		
	取組内容	○公募設置管理制度を用いた龍ヶ崎市森林公園再整備の実施 ・公募で応募があった事業者に対し、書面審査、プレゼンテーション審査を実施し、事業者を選定 ・選定事業者と基本協定及び実施協定を締結し、協議等を実施 ・費用対効果分析、公園用地取得に係る土地評価及び不動産鑑定等を実施	指標(R5)						
	事業名		指標名	区分	単位	目標	実績		
	取組内容		指標(R5)						
	事業名		指標名	区分	単位	目標	実績		
	取組内容		指標(R5)						
	事業名		指標名	区分	単位	目標	実績		
	取組内容		指標(R5)						
	その他の取組								
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
駅や大規模商業施設などを中心にしたまちづくりへの満足度		20.5 % (R3) 増加目標	14.1 % 目標まであと 13.9 %					28.0 %	
工業用地の確保や企業誘致など工業の振興への満足度		16.1 % (R3) 増加目標	13.6 % 目標まであと 6.4 %					20.0 %	
市外在住者の本市への来訪意向		14.8 % (R2) 増加目標	15.7 % 目標まであと 9.3 %					25.0 %	
市の物足りないところ、嫌いなところとして「活気とにぎわいが無い」と回答した割合		26.8 % (R3) 減少目標	30.1 % 目標まであと 11.1 %					19.0 %	
市の物足りないところ、嫌いなところとして「都市としての個性や特徴が無い」と回答した割合		25.6 % (R3) 減少目標	28.4 % 目標まであと 6.4 %					22.0 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方					
	C	森林公園の大規模リニューアルに取り組み、にぎわいの創出が期待されるが、来訪意向を除いてKPIが減少しているため。駅前開発や大規模商業施設の誘致など、市民の期待と取組の乖離による影響が考えられる。		森林公園のリニューアルに継続して取り組むとともに、主要地方道美浦栄線バイパス整備を踏まえた土地活用や、龍ヶ崎駅前、若柴台の下地区等拠点地区の土地利用等について検討していく。					

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり						
施策	2	快適でシームレスな移動環境の構築				リーディングプロジェクト(幸せ創造)		
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	・誰もが利用しやすく、便利な移動が可能になっています。							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	コミュニティバス運行事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○利用状況の分析、利用促進、公共交通ネットワーク再編の検討 ・運行事業者からの月次事業報告を確認し、利用状況を分析 ・市内小学校2校を対象としてモビリティ・マネジメントを実施 ・利用実績のほか、公共交通全体としての効率性や採算性、さらには地域住民からの要望等を踏まえ、再編案を作成し、地域公共交通協議会へ付議		モビリティマネジメント等の実施回数	活動	回	12	12
	事業名	乗合タクシー運行事業		指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○利用状況の分析と利用促進 ・運行事業者からの月次事業報告を確認し、利用状況を分析 ・市内小学校2校を対象としてモビリティ・マネジメントを実施 ・長寿会及び長寿大学参加者を対象に、事業概要を説明	指標 (R5)	乗合率(2人以上)	成果	%	30	22
	事業名	AIオンデマンド交通実証実験実施事業		指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○AIオンデマンド交通システム導入に向けた実証実験運行 ・実証実験運行エリア内において、約60回、約2,000人を対象とした説明会等を実施 ・乗降ポイントの設置や道路占用許可、道路使用許可、運行認可申請等の手続 ・令和5年11月から令和6年3月まで実証実験実施	指標 (R5)	年間登録者数	成果	人	300	265
	その他の取組	路線バス昼間割引事業、市営駐輪場管理事業		AIオンデマンド交通延べ利用者数	成果	人	1,000	2,167
				指標名	区分	単位	目標	実績
				利用者満足度(満足と回答した割合)	成果	%	70	95
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
市内の公共交通機関での移動の利便性への満足度		28.0 % (R3) 増加目標	19.5 % 目標まであと 14.5 %				34.0 %	
都心など市外への公共交通機関での移動の利便性への満足度		35.4 % (R3) 増加目標	32.9 % 目標まであと 8.1 %				41.0 %	
路上駐車や放置自転車への対策への満足度		33.8 % (R3) 増加目標	26.3 % 目標まであと 10.7 %				37.0 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方			
	C	KPIが総じて減少しているため。いわゆる2024年問題の影響による路線バスの減便や、路線バスや乗用タクシーの料金の値上げなどが少なからず影響していると考えられる。			AIオンデマンド交通の実証実験結果を踏まえ、公共交通全体の最適化を図り、市民の移動利便性を確保した、持続可能な公共交通の実現に取り組んでいく。			

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり						
施策	3	良好な住環境の維持・創出			リーディングプロジェクト(未来創造)			
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	・ 多様なニーズに応じた、安全で快適に住み続けることができる住環境が整っています。							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	空家等対策事業	指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○適正管理が行われていない空家等所有者等への情報提供及び協力要請や空家にさせないための取組の実施 ・文章や電話に加え、面会による対面での機会を増加(改善件数:52件、改善率:71.2%) ・生前整理講演会を開催(長山コミュニティセンター26人、市役所37人、松葉コミュニティセンター28人参加)		生前整理講演会の開催回数	活動	回	3	3
	事業名	空家バンク活用事業		指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○空家バンクの利用促進、空家バンク活用促進事業補助金の交付や住まいのお悩み相談会の開催 ・空家バンク登録15件、成約11件 ・家財処分で2件、改修工事で3件の補助金を交付 ・茨城県宅地建物取引業協会との共催により、不動産相談会をサプラスエアサプラで開催(参加:約30組)	指標(R5)	空家バンク活用促進事業補助金交付件数	活動	件	2	5
	事業名			指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			住まい相談会等の開催回数	活動	回	1	1
	その他の取組			指標名	区分	単位	目標	実績
				指標名	区分	単位	目標	実績
				指標名	区分	単位	目標	実績
				指標名	区分	単位	目標	実績
			指標名	区分	単位	目標	実績	
			指標名	区分	単位	目標	実績	
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	街並みの美しさへの満足度	51.6 % (R3) 増加目標	43.9 % 目標まであと 10.1 %				54.0 %	
	空家の撤去、活用などの空家対策への満足度	6.9 % (R3) 増加目標	6.7 % 目標まであと 5.3 %				12.0 %	
	適正管理を促した空家等のうち改善された空家の割合	72.4 % (R3) 増加目標	71.2 % 目標達成 1.2 %				70.0 % 以上を維持	
	空家バンク登録物件の活用件数	6 件 (R3) 増加目標	11 件 目標達成 5 件				毎年6 以上 件	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	適正管理を促した空家等の改善や空家バンクの活用による売買など、空家等の流動化は進んでいるが、老朽化している空家等の改善が課題となっており、KPIの減少につながっているため。		景観を阻害する空家等の適正管理や活用を促す取組を継続するとともに、空家にさせないための意識啓発や周知を図っていく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり						
施策		1 環境負荷の少ない地域社会の形成						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		・一人ひとりが環境に配慮した循環型社会を創ることに関心を持ち、実現に向け取り組んでいます。						
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみを表記しています。	事業名	自立・分散型エネルギー設備導入促進事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○住宅等における再生可能エネルギーの導入促進を図るため、蓄電システム設置費用の一部を補助 ・交付決定の内訳 100,000円(県補助50,000円+市補助50,000円) 33件 50,000円(市補助50,000円) 17件		補助金交付件数	活動	件	50	50
	事業名	廃棄物減量等促進事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○資源化と食品ロス削減の推進 ・サンデーリサイクルの実施(市内3か所、回収量約590トン) ・資源物回収事業の実施(行政回収175地区、集団回収8団体、回収量約1,437トン) ・リユース促進について民間事業者と協定締結 ・市内イベントで食品ロス削減のパネル展示及びチラシ配布		食品ロス問題等廃棄物に関するイベント、講座等開催件数	活動	回	2	1
	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組			指標名	区分	単位	目標	実績
			指標名	区分	単位	目標	実績	
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	再生可能エネルギーの活用など環境負荷低減の取組への満足度	35.0 % (R3) 増加目標	14.9 % (目標まであと 23.1 %)				38.0 %	
	ごみ収集サービスや資源リサイクルへの満足度	75.1 % (R3) 増加目標	74.0 % (目標まであと 4.0 %)				78.0 %	
	市民一人が1日に出す家庭系ごみの量	661.0 g (R3) 減少目標	623.0 g (目標まであと 73.0 g)				550.0 g	
	ごみの総資源化率	13.2 % (R3) 増加目標	13.0 % (目標まであと 9.0 %)				22.0 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	ごみの排出量が抑制され、ごみの収集やリサイクルの取組は一定の評価はされているが、脱炭素の取組について、「わからない」との回答が約20%増加しており、取組の見える化や拡充が課題であるため。		脱炭素の取組を加速化させ、取組の拡充や見える化に積極的に取り組んでいくほか、ごみの減量やリサイクル推進の取組を継続していく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり						
施策		2 自然環境の保全と環境美化の推進						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		・ 水や緑に恵まれた豊かな自然を守り、育み、自然と共生したまちが実現できています。						
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみを表記しています。	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	主要事業アクションプランに掲載している事業はありませんが、市の魅力の一つである「豊かな自然」の保全などの取組について、事業を展開しています。		指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組							
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		空気のきれいさや緑の豊かさなどの自然環境への満足度	74.4 % (R3) 増加目標	76.0 % 目標まであと 5.0 %				81.0 %
		地域をきれいにする活動や公衆衛生への満足度	57.0 % (R3) 増加目標	56.0 % 目標まであと 4.0 %				60.0 %
市の良いところ、好きなところとして「豊かな自然がある」と回答した割合		46.3 % (R3) 増加目標	48.0 % 目標まであと 2.0 %				50.0 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方			
	B	本市の特徴である自然環境への評価は依然として高く、環境美化の取組も一定の評価があるが、市内一斉清掃の在り方やポイ捨て等への相談も多く、満足度が現状維持となっているため。			本市の魅力の一つである自然環境の保全に努めるとともに、市内一斉清掃などを通じて、市民とともに連携・協力しながら、環境美化に取り組んでいく。			

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり						
施策	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	・道路、公園、下水道など誰もが安全・安心で快適に利用できる環境が整っています。							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	道路改良事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○道路改良工事及び舗装修繕工事 ・地域からの要望等を受け、市内全域のうち3路線の道路改良工事を実施 ・舗装維持修繕計画等に基づき、市内全域のうち5路線の舗装修繕工事を実施		道路改良延長	活動	m	400	520
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	橋梁維持補修事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○橋梁の維持・補修(橋梁点検33橋、補修工事2橋、工事設計1橋) ・橋梁点検を実施し、劣化状況を確認 ・架設年度や立地条件を加味した健全度を把握し、修繕対象の優先順位を設定した上で、予防保全型修繕を実施 ・橋梁の長寿命化及びコスト縮減を推進 ・日常点検で危険性がある場合は、通行制限や損傷箇所を補修		点検した橋梁の数	活動	橋	33	33
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	下水道事業内水浸水想定区域図策定事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○内水浸水想定区域図策定の基となる降雨、水量の実測調査実施による基礎情報の取りまとめ ・公共下水道雨水事業計画区域(佐貫排水区、小野川第1排水区、小野川第3排水区、小野川第4排水区、大正堀排水区、羽原排水区、駒馬排水区、破竹川排水区、長峰排水区、新利根川第1排水区)		浸水解析調査の実施数	活動	排水区	10	10
				指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組	市道第1-45号線整備事業、市道第1-380号線(佐貫3号線)整備事業、下水道事業ストックマネジメント実施方針策定事業						
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	上下水道の整備への満足度	63.9 % (R3) 増加目標	59.4 % 目標まであと 6.6 %				66.0 %	
	地域と地域を結ぶ幹線道路の整備への満足度	40.7 % (R3) 増加目標	47.5 % 目標達成 0.5 %				47.0 %	
	身近な生活道路の整備への満足度	49.5 % (R3) 増加目標	49.2 % 目標まであと 2.8 %				52.0 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	B		今後の施策展開の考え方				
	評価の理由	計画的な維持管理と通報システムを活用した簡易修繕等の対応により道路整備について一定の評価は得られているが、除草や道路側溝の排水に課題があり、関連指標の満足度が減少しているため。		インフラは市民生活や経済活動を支える重要な施設であり、災害時に果たす役割も大きいことから、安全・安心で快適な利用に資するよう、計画的な維持管理や整備を行っていく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり							
施策	1	市民主体のまちづくりの推進							
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 市民と市の役割を一人ひとりが理解し、「パートナー」として信頼し合いながら、自発的な市民活動が実践されています。 分かりやすく市の情報が発信され、市民との活発な意見交換がされており、「開かれた市役所」が実現できています。 								
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	市民活動サポート推進事業		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○新たな補助金制度「市民活動サポート補助金」の運用を開始 ・市民活動初期を支援する「スタートダッシュ支援(設立補助)」 ・市民活動拡充期に行う事業を支援する「ジャンプアップ支援(事業補助)」			スタートダッシュ支援の申請件数	活動	件	3	2
	事業名	新長戸コミュニティセンター建設事業		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○新長戸コミュニティセンター実施設計業務の再発注 ・令和4年度から着手してきた実施設計業務が、受託者側の都合により契約が解除となったため、実施設計業務を再発注 ・上記の内容を踏まえ、長戸コミュニティ協議会との意見交換や要望の聴取をし、令和6年度予算に新長戸コミュニティセンター建設工事及び旧長戸小学校体育館改修工事の費用を計上			ジャンプアップ支援の申請件数	活動	件	4	4
	事業名			指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容				指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組			指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
					指標名	区分	単位	目標	実績
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		まちづくりに気軽に参加できる機会への満足度		22.4 % (R3) 増加目標	19.3 % 目標まであと 5.7 %				25.0 %
市民活動への支援や参加できる機会への満足度		23.3 % (R3) 増加目標	21.3 % 目標まであと 5.7 %				27.0 %		
必要とする行政情報が得られていると回答した市民の割合		67.5 % (R3) 増加目標	64.2 % 目標まであと 4.8 %				69.0 %		
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方				
	B	KPIの増減から、一定程度、市民が求める情報発信ができていたが、そこから行動に移るための支援や活動できる場所や機会の提供に課題があるため。			市民活動やコミュニティ活動への支援を通じて、無理なく気軽にまちづくりに参加できる機会や場所を提供していくほか、情報発信や市民の意見表明機会の提供により、市民とともに創るまちを実現していく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり							
施策	2	SDGsの推進							
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	・SDGsの市民の認知度が向上しており、持続可能なまちづくりが実践されています。								
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみを表記しています。	事業名	龍ヶ崎市SDGsパートナーシップ制度運用事業			指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○龍ヶ崎市SDGsパートナーシップ制度の運用 ・パートナーを対象に研修会、事例報告会を開催 ・市民向けSDGsフェアで、パートナーによる講演やブース出展、パネル展示を実施 ・市広報紙でパートナーの取組紹介、連携事業の紹介記事を掲載 ・パートナーの取組を紹介するPR冊子を作成、配布	指標 (R5)	龍ヶ崎市SDGsパートナー登録件数	活動	件	75	57	
				龍ヶ崎市SDGsパートナー同士による連携事業数	成果	件	4	6	
	事業名				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容		指標 (R5)						
				指標名	区分	単位	目標	実績	
	事業名				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容		指標 (R5)						
				指標名	区分	単位	目標	実績	
	その他の取組								
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	SDGsの認知度		31.7 % (R3) 増加目標	61.1 % 目標達成 22.1 %				39.0 %	
	SDGsを生活・行動変容へつなげる意識をいつも持つ市民の割合		7.4 % (R3) 増加目標	12.8 % 目標達成 2.8 %				10.0 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	A			今後の施策展開の考え方				
	評価の理由	広報紙等やイベントを通じた地道な取組により認知度が向上しており、身近な取組からはじめることの大切さを伝えることで、行動変容にもつながっているため。			持続可能な地域・社会づくりに取り組む企業等の制度への参加を積極的に呼び掛けるとともに、市民への周知・意識啓発により行動変容を促すなど、官民連携でSDGsの推進を加速させていく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		8 市民と共に育む持続可能なまちづくり						
施策		3 効率的で透明性の高い市政運営						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> 効率的で質の高い行政運営が行われています。 行政運営に必要な知識やスキル、モチベーションを兼ね備えた人材が確保できています。 						
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	行政経営推進事務(事務事業の見直し・デジタルトランスフォーメーションの推進)						
	取組内容	指標(R5)	〇事務事業の見直しとデジタルトランスフォーメーションの推進 ・「開庁時間の見直し」、「日直業務の廃止検討」を協議 ・ビジネスチャットツールの試験導入 ・LINEによるオンライン手続を拡充(健診等予約、手話通訳士予約、道路及び公園等不具合通報等を導入) ・職員階層別研修へDX人材育成研修を採用					
	指標名		見直し方針が決定した項目数	区分	単位	目標	実績	
	事業名	職員のスキル・モチベーションアップ事業		指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	指標(R5)	〇職員の能力向上及び組織力の向上につなげる職員研修の実施 ・係長級職のための組織マネジメント研修を実施し、業務マネジメントの重要性などを再認識する機会を設け、市民目線の市政運営を最適に機能させるための組織について学ぶ機会を提供 ・チームビルディング研修やチーム力向上研修を実施し、チームで互いに支え合うことの大切さを学ぶ機会を提供	指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		職員研修の延べ受講者数	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	指標(R5)		指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組			指標名	区分	単位	目標	実績
(2) 重要業績成果指標(KPI)		指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		行政サービスの民間委託への満足度	18.5 % (R3) 増加目標	15.7 % 目標まであと 5.3 %				21.0 %
		市役所の仕事ぶりへの満足度	38.4 % (R3) 増加目標	40.1 % 目標まであと 1.9 %				42.0 %
		龍ヶ崎市役所の男性職員の育児休業取得率	100 % (R3) 増加目標	100 % 目標達成 0 %				毎年100 維持 %
		龍ヶ崎市役所の女性職員の育児休業取得率	100 % (R3) 増加目標	100 % 目標達成 0 %				毎年100 維持 %
(3) 総合評価		評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方			
		A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	B 人材育成により培った知識や接遇を通じて、様々な場面での市民対応が評価されている一方で、事務事業の見直しや民間委託による市民サービスの向上や効率化に課題があるため。		働き方改革と合わせ、時代に合った持続可能な市政運営を行っていくため、補助金の適正化など個別事業の見直しに加え、デジタル技術の活用や職員・組織の意識や能力の向上を図っていく。			

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
施策	4	効果的なシティプロモーション			リーディングプロジェクト(魅力創造)					
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの龍ヶ崎市に対する推奨・参画意欲が向上しています。 積極的なシティプロモーション活動が行われており、多くの人が市の「ファン」になっています。 									
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみに表記しています。	事業名	市制施行70周年記念式典開催事業		指標(R5)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○式典の開催と運営 ・パネルディスカッションや中学校吹奏楽部の演奏、流通経済大学ダンス部の演技など、式典内イベントを調整 ・記念ロゴマークを公募で募集 ・市広報紙に「さくらちゃんの70周年」と題し、記念連載を年4回行い、式典当日にパネル展示を実施			式典の参加者数	成果	人	500	700	
	事業名	オリジナル年賀はがき作成事業			指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○オリジナル年賀はがきの作成、販売 ・年賀はがきには、般若院のシダレザクラ(茨城県天然記念物)や伝統芸能撞舞(国選択・県指定無形民俗文化財)、関東鉄道竜ヶ崎線ラッピング車両「まいりゅう号」など本市の魅力をデザイン ・龍ヶ崎の物産品などが当たるお年玉プレゼント企画「たつのこ組」を実施		指標(R5)	年賀状の販売枚数	成果	枚	5万	5万	
	事業名	地域活性化起業者派遣事業			指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○地域活性化起業者の活用 ・合同会社EXNOAと協定を締結し、起業者1名の派遣を受入れ ・ふるさと納税に係る市公式ホームページ等のデザインを修正 ・ふるさと納税に係る返礼品のアイコンを制作 ・地域活性化起業者の提案による新規返礼品の導入 ・返礼品開発に係る高校生ワークショップ周知用アイコン制作など		指標(R5)	地域活性化起業者の提案により実現できた新規返礼品の数	活動	件	5	10	
	その他の取組	定住促進プロモーション事業、龍ヶ崎ファンクラブ事業、ふるさと龍ヶ崎応援事業			指標名	区分	単位	目標	実績	
						企業版ふるさと納税の納付マッチングができた企業の数	活動	件	3	0
	(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
		龍ヶ崎の魅力を勧める意欲(推奨意欲)	-50.8 (R3) 増加目標	-61.3 目標まであと 21.3				-40.0		
龍ヶ崎をよくする活動に参加したい意欲(参画意欲)		-38.6 (R3) 増加目標	-57.7 目標まであと 29.7				-28.0			
龍ヶ崎ファンクラブ会員が市を勧める意識(推奨意欲)		39.8 % (R4) 増加目標	37.5 % 目標まであと 7.5 %				45.0 %			
シティプロモーション活動への満足度		15.4 % (R3) 増加目標	23.3 % 目標達成 3.3 %				20.0 %			
市外在住者の本市の認知度		72.2 % (R2) 増加目標	70.3 % 目標まであと 16.7 %				87.0 %			
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	B	プロモーション活動に対する満足度の向上は見られるが、推奨意欲や参画意欲につながっておらず、市外在住者からの認知度も若干減少しているため。			継続したプロモーション活動や、フィルムコミッションにより本市の魅力を発信し、市民が誇れる・住み続けたいまち、そして、市外在住者の来訪や定住につながる取組を行っていく。					

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		8 市民と共に育む持続可能なまちづくり								
施策		5 公共施設の「縮充」の推進								
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性の高い魅力的な公共施設が整っています。 ・ 公共施設が担うべき必要性の高い機能を確保しつつ、施設配置・総量の最適化が図られています。 								
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみを表記しています。	事業名	公共施設再編成事業			指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○旧城南中学校や給食センター第一・第二調理場などの跡地活用 ・旧城南中学校は、活用事業者の公募結果を受けて課題を整理 ・給食センター第一調理場は、防災備蓄拠点として改修するための設計を実施し、給食センター第二調理場は、解体工事を実施 ・大宮小学校、松葉小学校、長山小学校の跡地活用の検討 ・湯ったり館は、民間事業者等の活用も含めサウンディングを実施				公共施設の施設数	活動	施設	84	86
	事業名				指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名				指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容					指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組									
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
		公共施設の総量最適化について理解している市民の割合		4.4 % (R4) 増加目標	2.9 % 目標まであと 4.1 %					7.0 %
		公共施設等の現状や課題について関心を持っている市民の割合		53.7 % (R4) 増加目標	60.9 % 目標達成 3.9 %					57.0 %
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	B	学校跡地等の活用について、地域住民などとの意見交換を通じて、関心の高まりは見られるものの、総量の最適化に関する理解が進んでいないため。			持続可能なカタチで次世代へつないでいくため、市民との対話を通じて理解を得ながら、公共施設の質と量の最適化を図っていく。					

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり						
施策	6	電子自治体の推進						
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	・ デジタルトランスフォーメーション(DX)により、効率的で便利な行政運営が実践できています。							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみを表記しています。	事業名	スマートフォン教室開催事業	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○デジタルデバйд解消に向けた市民向けスマートフォン教室開催 ・基本講座をコミュニティセンター13か所で計32回開催 ・応用講座をコミュニティセンター6か所、市役所で計12回開催 ・スマートフォンの基本的な使い方、市公式LINEでの来庁予約やマイナンバーカードに関する各種手続きなどを学ぶ講座を実施		延べ参加者数	成果	人	200	256
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	契約事務(電子入札システムの導入)	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○茨城県及び県内自治体で共同利用可能な「茨城県建設工事等電子入札システム」の導入 ・システムの構築、利用契約の締結 ・システムの利用準備、制度設計 ・事業者への通知、電子入札(テスト入札を含む。)の実施 ・運用開始により、契約事務を電子化		電子入札対象案件執行件数	活動	件	5	7
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			電子入札参加延べ数	成果	者	10	34
				指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組							
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	行政手続のオンライン化の件数	83.0 件 (R4) 増加目標	144.0 件 目標まであと 6.0 件				150 以上 件	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	A	KPIの達成状況のほか、デジタル技術を活用した市民の利便性向上につながる幅広い取り組みを進め、市民にも幅広く活用されているため。		費用対効果を踏まえながらDXを推進し、市民・事業者にとって効率的で利便性が高いだけでなく、市の業務効率化にも資する電子自治体を推進していく。				

令和5年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり						
施策	7	持続可能な財政運営						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応した、次世代においても持続可能な財政運営が行われています。							
(1) 主要事業の状況 ※ 主要事業アクションプランに掲載している事業のみを表記しています。	事業名	財政健全化推進事務	指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○財務書類の活用と予算編成の重点化、効率化 ・固定資産台帳の公会計システムへの移行を実施し、施設別、事業別のセグメント分析を念頭に、予算区分を細分化 ・予算編成のマイナスシーリングや枠配分は、市民サービス水準の急激な低下を招く懸念があることから見送ったが、厳しい財政運営が続くことや予算の重点化、効率化の必要性を庁議で共有		指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名			指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名			指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容		指標 (R5)	指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名			指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組							
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		市税等の収納率	98.2 % (R2) 増加目標	98.5 % 目標達成 0.3 %				98.2 % 以上を維持
経常収支比率		93.2 (R2決算) 減少目標	92.9 目標まであと 0.2				92.7	
積立金残高比率		34.6 (R2決算) 増加目標	41.6 目標達成 6.6				35.0	
基礎的財政収支		黒字 (R2決算)	黒字 目標達成 黒字				黒字	
実質債務残高比率		181.3 (R2決算) 減少目標	169.9 目標まであと 12.6				157.3	
社会資本形成の将来世代負担比率		11.6 (R2決算) 減少目標	—				10.2	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	市税の収納率は維持しており、財務指標は概ね良い結果となっているが、歳入では自主財源の確保、歳出では社会保障費の増加や物価高騰の影響、社会経済情勢の変化への対応など課題があるため。		財源の確保に向けて引き続き、収納率の向上に努めるとともに、中期的な財政収支見通しを勘案しながら、人口減少や少子高齢化など社会経済情勢の変化に対応できる持続可能な財政運営に取り組んでいく。				